

東大野球部

メールマガジン

VOL
132

〇ごあいさつ

時折冷たく吹く風に冬の到来を感じる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

東大野球部は新体制発足から早くも2週間が経ちました。新しい主将・副将の下、選手たちは最上位脱出という目標に向けて日々厳しいトレーニングによる体力作りに励んでいます。冬の間課題を克服し、春にはひとまわり大きくなった姿をお見せできるよう精進して参ります。

今週末には秋季オープン戦を控えています。週末は是非、東大球場に足をお運び下さい。

今後とも東大野球部をどうぞよろしくお願い致します。

〇今後の日程

〈秋季オープン戦〉

11月29日 13:30 vs TOKYO METS @ 東大球場



〇今回の特集「ふるさと自慢」

今回の特集は、「ふるさと自慢」です。

自分の出身地の有名スポットや食べ物の紹介など、各々のふるさとへの熱い思いを語ってもらいました！

臼井 貴登（3年・内野手・県立千葉）

僕の出身は千葉です。千葉といえばデイズニードとよく言われますが、あの場所は千葉県民的にはもはや東京です。

千葉といえば落花生が有名です。僕のまわりの友達はみんな落花生を食べて育ちました。ですがぼくは落花生は食べませんでした。何を食べたかって？ アンコウです。千葉の第二の名産物、アンコウ。麻雀はアンコ、臼井は暗黒。今年も帰省したらアンコウ鍋を食べようと思います。



斉藤 正直（3年・投手・長崎青雲）

出身校が長崎なのでよく勘違いされますが、僕の出身地は福岡県の八女市というところです。

ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、八女の有名な特産品は緑茶です。かく言う僕の実家もお茶農家で、昔からよくお茶畑で手伝いをさせられました。お茶畑の写真をみると故郷を思い出してほっとします。実家がお茶農家だというと、お茶の味に厳しいのではないかとよく言われますが、綾鷹とか伊右衛門とかも好きです。ですがやはり、実家のお茶が一番慣れ親しんだ味で和みます。大福など甘い菓子を食べながら急須で淹れた実家の緑茶を飲むのは至福のひと時です。みなさんもぜひ八女茶をご賞味ください。



上田 将成（2年・投手・南山）

私のふるさと、愛知県名古屋市で特に印象深いのは「名古屋飯」です。味噌カツ、ひつまぶし、手羽先、あんかけスパゲティ、台湾ラーメン、鬼まんじゅうなど個性的な食べ物から次々と頭に浮かんでいきます。普通の食べ物を一風変わった食べ方で食

べるといいうのも名古屋圏の人には多いようです（冷やし中華にマヨネーズなど）。1人暮らしで自炊する現在でも実家から送られてくる赤味噌や豆腐やカツにかけておいしく食べています。名古屋にお越しの際には是非「名古屋飯」を！



古田 将基（2年・外野手・岐阜）

僕の地元は、豊かな自然環境と歴史文化を持つ岐阜県大垣市です。

豊富な地下水、澄んだ河川に恵まれるため古くから「水の都」と呼ばれ、「昼飯大塚古墳」「大垣城」など多様な時代の文化遺産を有しています。

今回は大垣市を訪れたら是非食べていただきたいものを紹介します！「水まんじゅう」です！ぷるぷると柔らかい食感と上品な甘さのこしあんの組み合わせはたまりません。

紹介したいことがまだまだたくさんあるのですが文字数が足りません！是非、大垣市のホームページを見てください！



馬場 俊樹（1年・外野手・岡山朝日）

僕のふるさは岡山です。岡山は誰もが知るあの超有名な昔話、桃太郎のふるさともあり、岡山駅前には桃太郎の銅像が雄々しく立っています。

岡山県出身と言うとみんな、岡山なんかきびだんごしか無いだろ、とよく言われます。そんなことはありません。桃やぶどうなど、美味しい食べ物たくさんあります。そんなふるさと岡山に帰省する日を、僕は楽しみにしています。



編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

東大野球部は地方出身の選手がたくさんいますが、それぞれにふるさとの一押しポイントがあるようです。そして長期オフ期間はそれらを楽しみにして帰省しているようです。選手のふるさとにお立ち寄りの際は、是非そこにご注目下さい。

次回のメールマガジンの特集は「あの人」に一言！です。先輩や同期、後輩や監督など野球部の人に一言、伝えたいことを綴ってもらおう予定です！どうぞご期待ください！

今後とも、東大野球部をよろしくお願い致します。

お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向ヶ丘 1-5-9 一誠寮

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等

ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。